

公共情報コモンスの導入に向けた提言等

(1) 「クラウド活用モデル」の利用についての提言

安心・安全部会は、これまで行なわれた議論を踏まえ、以下のとおり提言する。

安心・安全部会で検討した「クラウド活用モデル」は、都道府県等の「防災情報システム」の改修の有無に関わらず、「公共情報コモンス」を導入することができる極めて有用な接続モデルであると考えます。

また、「クラウド活用モデル」は、実証実験でのアンケート結果から、操作性や機能面で「コモンスエディタ」より優れていると評価されている。

安心・安全部会は、都道府県等が「公共情報コモンス」を早期に導入する場合、「クラウド活用モデル」の利用を推奨する。

(2) 提言を踏まえた「公共情報コモンス」の導入に向けて

本提言は、都道府県等の「公共情報コモンス」の導入に関して、安心・安全部会としての考えを取りまとめたものである。

今後、北陸地域において「公共情報コモンス」を導入する場合には、各県と各市町村が連携し下記のような取り組みが考えられる。

【参考】

- ① 各県は、状況に応じて「公共情報コモンス導入に向けた検討・準備会（仮称）」を設置し、導入に向けた準備を早期に開始できるよう努める。
- ② 検討・準備会の構成員、事務局の運営等については、各県の意向を尊重する。
なお、「安心・安全部会」の情報伝達者（放送事業者）は、要請があれば、構成員として参加する。
- ③ 検討・準備会は、県庁内における情報共有及び市町村に対する説明を通じて、「公共情報コモンス」に対する理解を深めるとともに、早期導入に向けての機運を醸成する。
- ④ 検討・準備会は、情報発信者（自治体）と情報伝達者（放送事業者）との間の情報の取扱いに関するルール等の策定について検討する。
- ⑤ 北陸総合通信局は、各県と協力し、検討・準備会の支援を行なう。
- ⑥ 「安心・安全部会」は、必要に応じ、検討・準備会の支援を行なう。

以 上